

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホームそら

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を作りホーム内やホームページに掲げており、職員が理念に沿った介護が出来ているか会議等を行って振り返っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会に加入している。今年は地域の方に避難訓練に参加して頂いた。ドライブや散歩がてら地域の商店を利用している。	前はミニ運動会、いきいきサロンで一緒に活動したがコロナ禍で無くなってしまい寂しく思っている。コロナ禍で制約がある中、施設内での行事、ドライブや散歩に出かけたりして工夫している。利用者にとっても楽しみだと思うので続けてほしい。自信をもって「ほぼできている」として良いと思います		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者やサービスの実際など報告し情報交換している。提案や意見は各委員会や全体会議で報告し、サービス向上に活かしている	気づいた時に書き入れるヒヤリハットメモを活用し、もっとヒヤリを上げて事故を未然に防ぐようにした方が良い。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に市の担当者・高齢者支援センターの方に参加して頂きケアサービスの取組みを伝え協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加しているが、来る度に町内会長さん、町内の方、家族さんという関係が見られるので非常に良くやっていると感じています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄關の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会では身体拘束をしないケアの取り組みについて話し合いを行っている。全職員対象に研修を行い一人ひとりが正しく理解し行動することを目指している。玄關は施設せず自由に出入り出来るようになっている。出入りが分かるように入口にドアチャイムを付け見守りを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	具体例を通して身体拘束についての考え方を説明した。また、スピーチロックなどケアについて振り返り検討する場を設けていることについて報告し、身体拘束をしないケアに取り組んでいることを理解していただいた。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関連法案について研修を実施している。研修の評価を行い、課題について委員会検討している。年1回虐待の芽チェックリストを行っている。虐待防止検討シートを用いてケアの振り返りを行い適切なケアについて話し合っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアを振り返り改善策を実施した後の評価について報告し、実施後のケアのポイントや有効性について意見をいただいた。十分にできていると思うと意見をいただいた。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や、成年後見人制度について理解できるように研修を行っている。成年後見制度を活用されている利用者様がおり後見人と制度活用しながら本人を支援している			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約に関しては 十分な説明を行い不安や疑問点があればその都度説明し理解・納得を図っている。改定時にも理解が得られるように説明し文書で同意が得られるようにしている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に意見箱を設置している。利用者には普段の会話の中で聞き取るようにしている。ご家族には来訪時や電話連絡時や運営推進会議に参加した時に意見・要望を聞いて運営に反映させるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の頻度について質問があった。面会時など都度聞きとりをしており利用者主体の生活が出来ているよう取り組んでいることに理解を頂いた
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に管理者と面談を行い意見や提案を聞く機会がある。また、各会議でも意見や提案を聞き欠席者はあらかじめ書面で意見を出し会議で話し合っている			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面談で個人目標設定や研修の個人目標を立て、やりがいをもち働けるように努めている。キャリアアップにつながるよう資格取得支援を行っている。状況に応じてシフト調整をするなど働きやすい環境整備をしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜勤の体制や業務量、育児休暇について質問があった。チーム内で協力しあっていることを説明し、働きやすい職場環境に努めていることを理解していただいた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内研修は全員が参加しやすいよう動画視聴で行ったりユニット毎に行ったり工夫している。外部研修はオンライン研修を取り入れ知識・技術向上につながるよう動いている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で高齢者支援センターの方と情報交換する機会がある。全国・地区の協会に入っており同業者と交流する機会があり、情報交換している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人の人間として尊重し料理や洗濯・掃除など得意とする家事や本人の出来る事を行うなど個々の持っている力が発揮出来るようにしている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の動向を把握して体調確認を行いながら、お墓参り・ドライブなど家族・親戚・友人の方々との交流を支援している。また、便りで本人の写真や活動をお知らせしている。	家族的で安心ですね。みんなが一緒にホールで過ごしているところが家庭的でいいと思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段接する中で利用者一人ひとりの思いや暮らし方について情報を共有している。意向が十分に把握できない場合は職員が利用者の視点に立ったり利用者のことをよく知る家族			

				や関係者から情報を頂いている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族等の意見を聞き、また主治医や看護師より日常生活で注意する点などアドバイスを受け現状に即した介護計画を作成し、記録することで情報共有しモニタリングにも活かしている。	職員の情報の共有化というのが大事だと思います。継続的に進めて中身の濃い計画にしてもらいたい。聞いていて、計画して共有して直して、このように皆さんが介護しているというのが分かりました。一人ひとりに手厚くやっているので良いと思いました	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない B.	個人の要望を聞き出す工夫について質問があった。入居時や入居後日々のかかわりの中で、できなくなっていること、できること、職員の支援があればできることなど情報を収集し職員間で共有し本人がよりよく暮らすための介護計画を作成していることを理解いただいた。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の1日の生活の暮らし方や食事量・睡眠・排泄パターン・体調変化や認知症による行動変化・有する能力の変化など記録しその日の状態を読み取り話し合いながら介護計画の見直しに活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ごとの記録があり記録方法や使用方法が分かりやすく職員間で情報を共有できていると評価をされた。今後も取組みを継続して行うよう意見を頂いた
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の要望を聞きながら訪問診療や移動売店・訪問マッサージを利用し必要なニーズに合わせてサービスを検討している。	訪問マッサージはどのような方が受けられるのか分からなかったが、その方に必要なサービスが受けられて良いと思いました。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームでのイベント(えんぶり・ひな祭り・舞踊の鑑賞会)や避難訓練には地域の方々に参加して頂いている。定期的に訪問カットを依頼している。	町内に老人ホームなどに慰問に行っている方々がいるので慰問して交流できたらいいなと思っている。輪投げなど用具を揃えているので広い場所で町内の方と支え合って交流する場があってもいいかなと思っている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人及び家族が希望する診療が受けられるようにかかりつけ医を決めている。また24時間対応可能な訪問診療に変更する方もいる。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は医療連携室に情報提供書を提出している。退院時は病院からの注意事項を確認し利用者や家族が安心出来るように話し合い介護計画を見直している		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時は医療機関と情報共有を行い利用者や家族が安心できるように対応していることにご理解を頂いた
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に事前調書を本人・家族に記入して頂いている。ホームでは終末期の明確な方針がある。家族には状況変化時に再度話し合う時間を設け方針を共有し医療とともにチームで取り組んでいる。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に終末期ケアについて意向を確認している。状況変化に応じ意向を再確認し場合によっては主治医とも話し合いの場を設けている事にご理解頂いた
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時・救急対応のマニュアルを作成している。また救急時における対応の研修を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年6回避難訓練を行っている。年に1度消防参加の避難訓練を行い町内の役員・利用者家族も参加して頂き協力体制を築けるようにしている。	消火器の使い方を知らない人がいるのでピンを抜くところまでやっておいた方が良い。初期消火が大事なので訓練をしておくことが安心だと思います。	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内では避難訓練を行い全職員が参加している。地域を含めた避難訓練を行うことで実際災害が起きた時に安心して避難できるのではないかとご意見を頂いた。今後は町内会への情報提供を行っていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりを尊重したケアの研修を行い個々に課題を設けその人らしさを大切に声かけや対応をしている		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	倫理やプライバシーの研修を行い人格を尊重した声かけを行っている事を理解して頂いた

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のレクは利用者の希望を取り入れている。花の手入れや、野菜の収穫、散歩など、その時の希望にそった支援に努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりの出来ることを活かして食事作りや片付けを職員と一緒にやっている。誕生日や行事には食べたい物を聞きとりデリバリーを頼むなど楽しさが感じられるように支援している。安全に食事が出来るよう研修で学んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の出来る範囲で食事の準備や片付けを行ったり、外食やデリバリー・移動売店で好きなものを選ぶことが出来るなど食事を楽しむ事ができるように支援していることに理解を頂いた
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日栄養バランスがとれるように献立を立てている。食事量や水分量の記録している。嚥下が難しい利用者には食事形態の工夫をしている。水分摂取が十分でない方には介助している。体重測定を行い主治医に報告している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後は口腔内の洗浄や義歯の手入れを行い能力に応じ支援している。異常があった時は家族の了解を得て歯科受診をすすめている。毎年口腔ケアの外部研修に参加し学ぶ機会がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態に応じた適切な口腔ケアを行うことで口腔内の清潔が保持されている事を理解して頂いた
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンに沿って声かけや誘導している。オムツの見直しを随時行っている。便秘予防のため水分摂取や運動を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ごとに排泄状況を確認して声かけや誘導をしている。また便秘予防の水分摂取や運動をするなど予防に取り組んでいる事を理解して頂いた

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日は決まっているが一番湯に入りたい方やお湯の温度など希望を聞き対応している。拒否があれば時間を置いて再度声かけて気持ちよく入浴できるように工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体操や散歩・廊下歩行など活動することで生活リズムを整えている。本人の習慣で昼寝を勧めたり、疲れた時はソファや居間で休息を取れるようにしている。夜は不安で眠れない時は飲み物を提供したり、会話したりして安心して眠れるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	診察時に状態報告し投薬に関して変更があれば記録に残し共有し確認している。服薬後の状態についても医師・薬剤師に報告している。薬事情報と照合し薬について理解して服薬支援を行っている。服薬方法は個人ごとに検討し確実に飲めるよう介助・見守りをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医から薬の目的や副作用など説明があり職員が情報共有している。服薬時は間違えないようにまた確実に飲めるように支援している。しかし事故やヒヤリが上がっているとご意見があったため服薬時のマニュアルを見直す必要がある
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴や力に応じて調理、洗濯たたみ、床拭き、縫物など役割を持って生活している。季節に応じて行事を行っている。お団子づくりや郷土料理、漬物づくりなど行っている。	計画作成からその方の人格とかどのような仕事をしてきた方が、好むことなどが伝わってきます。今後とも計画作成にあたり、サービス提供、支援につなげてもらえればと思います。漬物を漬けているのですごいなと思います。歩けず座っているばかりいても、耳が遠くても一人ひとりのできることを支援している。役割のようにになっているのも本人にとっては張り合いになっていて良いと思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気候が良い日は近所に散歩に出かけたりドライブに行っている。本人の希望を聞き家族と買い物や美容院、外食、墓参りに出かけている。秋には紅葉を見に十和田や三沢方面	歩けない方は家族が外出させたくても難しいと思うのでドライブや小旅行に出かけられることはありがたいことだと思います。皆さんの楽しそうな良い表情を見ることができました。		

		支援している		に小旅行に出かけた。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お小遣いは本人が管理できるか確認している。ホームで管理している方は収支を家族に報告している。外出時や移動売店利用時は財布を渡し自分で払えるように支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プレゼントが届いた時は本人がお礼の電話をするか希望を聞き、電話をかける支援をしている。写真を送ってきた時は飾ったり手紙は本人や家族の承諾を得てから職員と一緒に読んだり返事を書けるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テレビや音楽などの音の調整や好みの番組を選択している。湿度や温度を観察し適温に調整している。季節ごとの生け花や鉢植え、また飾り物を制作し飾っている。利用者の笑顔の写真を飾ったりするなど工夫し心地よく過ごせるようにしている		① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内は温度や湿度を管理しており壁には手作りのものを飾るなど利用者にとって安心して過ごせるように配慮していることに心地よく過ごしていることご理解を頂いた。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や会話、家族からの聞き取り等から本人の想いや暮らし方について把握し意向に沿った支援に努めている。意向を表現できない方に関しては仕草や表情を見て把握するようにしている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の交友関係や、嗜好品、趣味を把握し、継続できるよう家族や友人に協力してもらっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日健康チェック、体操を行い健康づくりを行っている。訪問診療や訪問看護を受けており、24時間対応できる体制になっている。安全面ではヒヤリハットを上げ事故防止に取り組んだり、福祉用具を活用している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日健康チェックや体操を行ったり訪問診療や訪問看護と連携をとりながらケア・支援を受けている事を理解して頂いた
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールにて他者と会話したり趣味や家事を行い、起床や就寝時間など自分のペースに合わせた生活が来ている			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真・仏壇やぬいぐるみなど馴染みのものや大切にしていた物を自宅から持参して居室においている。母の日や誕生日等で届いた贈り物は居室に飾っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が大切にしている物を持参したり贈り物を飾ったり自宅で過ごしているような環境作りを行っていることを理解して頂いた
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	初詣やお花見・秋の小旅行など出かけている。家族と一緒に墓参りや法事に出掛けたり外食をしている。感染対策を行い安心して外出できるように支援している。5年ぶりの演芸発表会に出かけた方もいる。	「充分にできている」でいいと思います		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前情報に囚われたりスタッフの思い込みにならないようにどんなことでも一度は声かけや参加を促している。興味があるものや出来るものを伸ばしたり、支援があればできる可能性がある事をみつけ工夫して個々			

				に対応している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人の得意な活動をして頂き喜ばれている。気の合う人と会話を楽しめるよう場面を設定している。カルタやトランプなどの時は会話が弾んでいる。できた作品を褒め合ったりしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の持つ力を活用しいきいきと過ごす為に時には職員が仲介をしながら利用者同士が対話を楽しめるように支援していることに理解を得た
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができてい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩中積極的にあいさつすることで会話のきっかけになり今後の交流につながるようにしている。元んぶりや利用者の舞踊鑑賞会に参加をして地域の人々と交流することが出来た。	散歩して会う機会が無く以前のように挨拶することもなくなりました。コロナ禍と暑い日が多く歩く機会が減りましたが、これからは散歩して交流できればいいですね。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気のあるホームで過ごしながらか散歩等で地域の人達と関わりが持てるように心掛けています。職員や利用者間で馴染みの関係を築くことで安心感を持ちながら自分らしく暮らせるように支援している。	平均年齢が80代後半でも散歩や小旅行にもいけるし、いいなと思います。写真を見ていると笑顔が素敵でとてもいいと思いました。一人ひとりの満足度に近づけるように、またグループホームの良さ、やはり安心感が大事だと思うのでこれからも頑張っていきたい。施設的な介護ではなく家庭的な雰囲気の中で認知症があっても自分らしい生活ができるというのが非常に心強いと思っています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者がホームにすることで職員や利用者と安心して暮らしている。地域の人たちとの関りが少ない為町内会を通してなじみの関係を作るようにしてほしいとご意見を頂いた

(参考様式4)

事業所名 グループホームそら

目標達成計画

作成日: 令和 7年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	20	地域資源との協働 ・コロナ後から地域資源との交流が少なくなりなじみの関係が築けていない	・地域資源を把握し地域の方との交流し楽しむことができるようにする	・町内の婦人部の踊りの発表会をホームに招き踊りを鑑賞したり利用者と一緒にレクリエーションを行う ・ホームの小旅行やミニ運動会に地域の方にも参加していただく	12ヶ月
2	34	服薬支援 ・服薬に関する事故やヒヤリが上がっているので手順書を見直す必要がある	・確実に服薬できるようにする	・委員会で手順書を見直す ・全員参加で研修を行い手順書を周知する ・事故の原因を明確にしてその事故に合った対策方法が立てられているかユニットや委員会で話し合う	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。